

史跡松江城課題の整理一覧（地区名はH5年度策定環境整備指針による）

番号	地区	課題(原因)	現状の問題点	整備済み	年度	整備予定	記載計画書等	備考
1	各地区共通	未指定地の追加指定	三之丸、市道城山線及びその沿線、稲荷神社	△	S50～買上げ	H22～	・史跡松江城環境整備指針(H5)	S50～買上げは、スタートしたが未指定地のままの状態だった。H22に城山内の民有地は、条件が整えば史跡に追加指定し、買上げるという方針が決定され、それに基づき追加指定と買上げを継続して実施中。
2		発掘調査等の推進	発掘調査は昭和47年から、二ノ丸下の段の米蔵跡の調査からスタートし、平成12年の二ノ丸御殿の調査まで計19回実施したが、本丸の鉄砲槽、坤槽、祈禱槽、市道城山線北側城山稲荷地区などは、殆ど調査されていない。民有地の買上げが進む中で、まとまった区域については、発掘調査を実施し、それに基づいた史跡整備が必要になる。	△			・史跡松江城環境整備指針(H5)	H13からは、遺構整備のための発掘調査は実施されていない。
3		緊急を要する遺構の保存措置の推進	一の門前、弓槽下の石垣や三の丸の石垣等、いつ崩れてもおかしくない状態の石垣がある。	×			・史跡松江城環境整備指針(H5)	三の丸の石垣は、H23に崩落した。修理の実施については、補助事業で実施するため、市が担当した。経費負担は、国1/2、県1/2。ただし、今回は、緊急対応のため市が人を出し、県が金を出すことで協議が整ったが、今後の経費負担は、取り決めが必要。
4		樹木等の植生の維持管理の推進	①石垣に悪い影響のある樹木の適切な管理 ②市道城山線北側城山稲荷地区は、鬱蒼とした森となっており武家屋敷や小泉八雲旧居からの景観が阻害されている。 ③桜類やヒトツバタコ(なんじゃもんじゃ)の補植の問題。 ④椿谷、梅林の史跡内での位置づけの問題。				・史跡松江城環境整備指針(H5)	H24本丸の石垣そばの松が突然倒木する事故が起きた。幸い被害はなかったが、危険木を把握し適切に管理する必要がある。
5		歴史的建造物以外の施設の撤去、修景等の推進	①本丸には、夜間照明用の鉄塔。 ②二ノ丸には、西南の役の慰霊碑。 ③二ノ丸下の段には、警察忠魂碑。 ④市道城山線北側には民家。	△		H28～	・史跡松江城環境整備指針(H5)	①松平直政公の銅像台座を撤去 ②岡崎運兵衛の胸像の撤去 ③NHKラジオ塔の撤去 ④茶店6軒の撤去 ⑤武徳殿、運動場、図書館、民家の撤去 ⑥動物園の撤去 ⑦県椿谷会館の撤去
6		防災対策の強化	①消火設備の強化。(自動放水銃への更新、スプリンクラーの増設、自家発電装置の新設等) ②防犯設備の強化。(防犯カメラ、センサー等)	×			・史跡松江城環境整備指針(H5) ・重要文化財松江城天守保存活用計画(H25)	本丸は、S29に避雷針設備の設置を契機に、H2までに屋内外消火栓、空気管や煙感知器及び最上階にスプリンクラーを設置したり、更新したりしてきた。しかし、重文以外の復元櫓等については、消火設備は十分とは言えない。また、防犯設備は、本丸の赤外線センサー以外はどこにも設置されていない。
7	本丸地区	擬西洋風低木植栽(イヌツゲ)の撤去	①人の流れの停滞 ②天守の眺望の阻害要因	×		H27以降H29までに	・史跡松江城環境整備指針(H5) ・重要文化財松江城天守保存活用計画(H25)	S30年代の古写真にイヌツゲを植栽した記録有。
8		自由園路化	①自由園路化した場合、観光客の誘導のため他の工夫が必要となる。 ②排水の問題等、歩きやすさの確保に新たな工夫が必要になる。	×			・松江市城山公園改造計画(S4)本多静六 ・史跡松江城環境整備指針	園路は本多静六の設計(S4)が基本になっている。米軍航空写真等から判断すると、イヌツゲの植栽時に園路も設置したと考えられる。
		既存園路の継承	①排水設備の改修が必要。 ②砂利敷き路は、広範囲に砂利の補填が必要。 ③本多静六の設計にない園路がある。	×		H27以降H29までに	・重要文化財松江城天守保存活用計画(H25)	園路は本多静六の設計(S4)が基本になっている。
9		北の門の開放	以前から仮設の門が設置されていたが、老朽化のためH10に改修された。H12の鳥取震災で被災した水の手門付近の石垣修理のため、閉じられたが現在は解放されている。	○		H10	・史跡松江城環境整備指針(H5) ・重要文化財松江城天守保存活用計画(H25)	S53北の門跡、乾の角櫓跡、多聞跡の発掘調査。調査成果に基づく遺構平面整備。
10		北の門の復元	発掘調査の実施により、平面的な成果は得られたが、写真等の資料がないため復元に至っていない。	×		平面整備のみ完了	・史跡松江城環境整備指針(H5) ・重要文化財松江城天守保存活用計画(H25)	S53北の門跡、乾の角櫓跡、多聞跡の発掘調査。調査成果に基づく遺構平面整備。
11		天守の眺望を阻害する樹木の整理	ビューポイントを設定し阻害木を特定する必要がある。	×		H29以降	・史跡松江城環境整備指針(H5) ・重要文化財松江城天守保存活用計画(H25)	
12		石垣上の樹木の整理	①H24年度のように、風により突然倒木する危険性があるため、樹木調査を実施し、危険木を特定した上で整理する必要がある。 ②石垣付近の樹木は、撤去する必要がある。	×		H29以降	・史跡松江城環境整備指針(H5) ・重要文化財松江城天守保存活用計画(H25)	
13		一の門と多聞の再復元	①昭和35年に松江城の古材の一部を使用して建築した。 ②復元位置が西にずれている。一の門の礎石が残っているため、正しい位置に再復元する必要がある。	×		未定	・史跡松江城環境整備指針(H5) ・重要文化財松江城天守保存活用計画(H25)	
14		直政公銅像台座の撤去		○		H5?	・史跡松江城環境整備指針(H5)	市内私有地に保管。H21県庁前に再設置。
15		公衆便所の撤去		○		H5	・史跡松江城環境整備指針(H5)	二ノ丸と二ノ丸下の段の仮設トイレも同時に撤去

史跡松江城課題の整理一覧（地区名はH5年度策定環境整備指針による）

番号	地区	課題(原因)	現状の問題点	整備済み	年度	整備予定	記載計画書等	備考	
16	本丸地区	乾櫓、坤櫓、鉄砲櫓、 武器櫓等各櫓の復元	発掘調査の実施により、平面的な成果は得られたが、写真等の資料がないため復元に至っていない。	×	/	武器櫓を除き平面整備のみ完了	・史跡松江城環境整備指針(H5)・重要文化財松江城天守保存活用計画(H25)		
17		多間の復元	発掘調査の実施により、平面的な成果は得られたが、写真等の資料がないため復元に至っていない。	×		未定		・史跡松江城環境整備指針(H5)・重要文化財松江城天守保存活用計画(H25)	
18		瓦堀の復元	櫓や多間の復元とセット関係にある。	×		未定			天守東の祈禱櫓から北の門までは、多間ではなく瓦堀。
19		桜類の整理	少ない本数でも樹勢が良い環境作り①ナラタケモドキ菌感染木の樹勢回復と樹種の選定②適切な間隔での補植③本多静六の設計による植栽配置の検討	×		H27以降H29までに		・史跡松江城環境整備指針(H5)・重要文化財松江城天守保存活用計画(H25)	
20	国宝昇格化	①調査成果の総合的な検証と再発見された祈禱札等の史料を天守に係る史料として附指定を目指す必要がある。②今後の調査体制の維持及び調査成果の広報等を継続する必要がある。③現存する歴史史料と行政資料、修理資料等を保存し、調査する必要がある。	×			・史跡松江城環境整備指針(H5)	①平成24年5月、天守創建を示す慶長16年在銘の祈禱札が再発見された。 ②祈禱札は、他に4枚所在する。天守で行われた祈禱を示す貴重な史料であり、今後の研究が必要である。 ③史料等の適切な保存と継続的系統的な調査が不可欠。		
21	二ノ丸地区	茶店の撤去	一の門前の枳形から二ノ丸にかけて、6軒の茶店が立っていた。昭和30年代から無関係な施設として移転が求められていた。また、茶店から出火するなどの事故や布袋茶屋の下石垣が崩落するなど、史跡に悪い影響が及ぶため早期の移転撤去が課題。	○	H4～H6			H4千鳥庵と合意。H5布袋茶屋、亀松亭、友松亭と合意。H6城山みやげ品店、二松亭と合意。	
22		記念碑の撤去	郷土の政治家岡崎運兵衛(S5建立)の胸像	○	H5		・史跡松江城環境整備指針(H5)	H5に城外に搬出。	
23			西南の役の殉死慰霊碑	×			・史跡松江城環境整備指針(H5)	興雲閣前に現存。いずれ撤去移設が必要。	
24		建物遺構の平面整備	NHKラジオ塔(S7建立)が、景観を著しく阻害。撤去した茶店の跡地の整備の問題。	○	H6、H11～H12		・史跡松江城環境整備指針(H5)	H6ラジオ塔を撤去し、H11～H12に撤去した茶店6軒の跡地は、それぞれ盛り土して遺構標柱を設置した。H11～H12発掘調査。H12御殿跡平面整備し、井戸屋形復元。	
25		櫓等の復元	古写真と発掘調査の成果による復元	○	H7～H8、H9～H12		・史跡松江城環境整備指針(H5)	H7～H8発掘調査。	
26		遺構内の樹木や園路の移設		○	H12		・史跡松江城環境整備指針(H5)		
27		説明板、標柱、ベンチ等の設置	史跡公園の景観に配慮し、統一性のある説明板、標柱の設置	○	H12		・史跡松江城環境整備指針(H5)	H5にサイン基本計画策定	
28		公衆便所の設置	景観に合った公衆便所の設置の必要性	○	H4～H5		・史跡松江城環境整備指針(H5)	H4番所跡発掘調査。H5復元及びトイレ施設設置。	
29		興雲閣の復元修理	M36築後、本格的な改修はされていない。老朽化及び松江歴史館建設に伴う展示機能の再検討。	/	H25.11～H27.9		・史跡松江城環境整備指針(H5)	H20基本計画、H22耐震診断、H23保存活用計画、H24実施設計	
30		郷土館の展示物の移動	郷土館には収蔵機能がない。膨大な展示用資料は、奥谷収蔵庫(老朽化した民家)に保管。	○	H24		・史跡松江城環境整備指針(H5)	H24松江歴史館及び穴道菟古館へ	
31		興雲閣の活用	史跡公園内の洋館として、雰囲気合った活用が課題。	/	H27.10～		・史跡松江城環境整備指針(H5)	H20から活用調査、活用実験、観光専門家意見聴取、文化財活用事例調査、市民意見聴取	
32		二ノ丸下の段地区	遺構の明示復元及び休憩、便益機能の付加	二ノ丸の茶店撤去に伴い、休憩及びトイレ等の便益施設の必要性が指摘されていた。	○	H6		・史跡松江城環境整備指針(H5)	H5に発掘調査を実施。縄張り図のとおり御破損方・寺社方の建物跡が検出されたので、復元風に関連し、休憩・便益施設の機能を持たせた。便所は、この施設の中に設置した。
33	脇虎口の門の復元整備		現在、遺構表示を平面的に実施しているが、脇虎口の門の復元的整備が期待される。復元には写真資料等の発見が必要。	△	S60		・史跡松江城環境整備指針(H5)	S57・S59発掘調査の実施。2間×5間の門跡及び溝を検出。S60江戸期の礎石の15cm真上に礎石複製品を据え付け。解説版の設置。	
34	便所の改修		二ノ丸の茶店撤去に伴い、休憩及びトイレ等の便益施設の必要性が指摘されていた。	○	H6		・史跡松江城環境整備指針(H5)		
35	大手門の復元整備		現在、遺構直上に礎石の平面整備が行われているが、写真資料等の発見により遺構復元が期待される。	△	H5～12		・史跡松江城環境整備指針(H5)	H5、H6、H8発掘調査。礎石の確認。H12礎石遺構上に大手門跡平面整備。	
	民家の移転と撤去、土地買上げ		市道城山線脇の民家3軒4世帯	○	S50		・史跡松江城整備報告書(H12)		
36	馬溜の修理		江戸期の絵図等史料で、井戸等が記載されている。石垣の調査でも地表下50cmに遺構が残存することが確認されているので、発掘調査を実施し、松江城の入り口として往時の姿に復元する必要がある。	○	H5～H11		・史跡松江城環境整備指針(H5)	H5、H6、H8発掘調査。H10水路整備、井戸跡整備、広場西側舗装。H11井戸屋形復元、水路整備、照明設置、広場東側舗装。	
37	中曲輪・腰曲輪地区		馬洗池及び周辺の修景整備	池周辺の修景整備。水質保全。	△			・史跡松江城環境整備指針(H5)※水質保全は、指針には記載されていない。	
38		樹木の伐採	池周辺は、樹木が繁茂しすぎて鬱蒼とした閉鎖的な雰囲気となっていた。	○			・史跡松江城環境整備指針(H5)		
39		水の手門の開放	平成5年時点では、北の門と水の手門が開鎖されていたため、北への動線が閉ざされていた。	○			・史跡松江城環境整備指針(H5)		

史跡松江城課題の整理一覧（地区名はH5年度策定環境整備指針による）

番号	地区	課題(原因)	現状の問題点	整備済み	年度	整備予定	記載計画書等	備考
40		門の復元	発掘調査の実施により、平面的な成果は得られたが、写真等の資料がないため復元に至っていない。	△			・史跡松江城環境整備指針(H5)	
41	中曲輪・腰曲輪地区	未指定地の指定	民家の撤去は、H11に完了したが、史跡指定はされてなかったためH25に追加指定を行った。	○	H25		・史跡松江城環境整備指針(H5)	
42		民家の移転と撤去	民家の撤去は、H11に完了した。	○			・史跡松江城環境整備指針(H5)	
43	後曲輪・外曲輪地区	椿谷の整備	園路の改修、植栽整備、防犯灯、案内板、北側入口民家の撤去	○	H8		・史跡松江城環境整備指針(H5)	
44		亀田橋付近の整備	入口広場の整備(便所・四阿を含む)	△	H8		・史跡松江城環境整備指針	便所・四阿は未整備
45		椿谷会館(県職員会)	建物撤去、入口広場としての整備	○	H6		・史跡松江城環境整備指針	
46	北の丸地区	未指定地の指定	一部無番地有	×			・史跡松江城環境整備指針	
47		樹木の保全と管理	護国神社の社叢の保全と管理	○			・史跡松江城環境整備指針	
48		上御殿(新御殿)の解体	S61一部調査を実施。遺構、遺物を確認	×			・史跡松江城環境整備指針	
49	城山稲荷地区	未指定地の指定	民有地、城山稲荷神社所有地が未指定。H27.1時点で94.1%が指定地。	△	H3～	H3～	・史跡松江城環境整備指針(H5)	H25から集中的に追加指定を進めている。(H25 国指定史跡等の土地の固定資産税の課税免除を条例化)
50		民有地の買上げと民家の撤去	H3から買上げと撤去を進めているが、H27.1時点で、16軒の民家が残っている。	△	H3～	H3～	・史跡松江城環境整備指針(H5)	H22に条件が整った所から史跡指定し、文化庁の補助事業で買上げる市の方針を決定。
51		散策路の整備	城山北部は、城山稲荷神社所有地だったがH4に買上げを実施し、H6に散策路整備済み。	○	H3～H6		・史跡松江城環境整備指針(H5)	
52		便益施設の整備	H3に民有地買上げと建物撤去。H5に発掘調査を実施し、公衆トイレを設置。	○	H3～H6		・史跡松江城環境整備指針(H5)	
53		舟着門の整備	発掘調査が必要。	×			・史跡松江城環境整備指針(H5)	
54		土塁・石敷、石段、井戸等遺構の保存整備	H6に散策路を含め整備済み。	○			・史跡松江城環境整備指針(H5)	
55		買上げ地の整備	条件が整った民有地の買上げなので、ある程度、まとまった段階で整備が必要。	×				
56		市道城山線の取扱	民有地の公有地化の進捗に合わせて要検討。	×			・史跡松江城環境整備指針(H5)	
57	三之丸地区	史跡指定化	現在、内堀の堀石垣までは、指定地。今後、史跡指定について関係機関との協議を進める必要がある。	×			・史跡松江城環境整備指針(H5)	県庁敷地の内、内堀石垣の所有は、松江市。現在、内堀石垣のみ指定。
58	内堀地区	水質浄化	試験的な水質浄化が行われているが、十分な成果が見いだされていない。	×			・史跡松江城環境整備指針(H5)	
59		汚泥浚渫	県庁前浚渫後、40年以上経過しているので、状況調査が必要。	○	S48		・史跡松江城環境整備指針(H5)	
60		大手前暗渠改良	県庁内堀と二ノ丸内堀の水質保全を図るため、暗渠通水工事を実施したが、効果が十分とは言えないので改良が必要。	△	S47		・史跡松江城環境整備指針(H5)	
61		石垣護岸の保護・修復	東側内堀石垣は、洗掘により崩壊の危険があるが、歴史館の開館と時期をずらして修理する必要があったため保護措置として、石積み護岸としている。早い時期の修理が必要。	×			・史跡松江城環境整備指針(H5)	
62		舟着門の復元	発掘調査が必要。	×			・史跡松江城環境整備指針(H5)	